

2010年11月4日

アジア・オセアニア会計基準設定主体グループのウェブサイト

アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ（AOSSG）は、メンバー間の効果的かつ効率的なコミュニケーションを可能とするとともに、アジア・オセアニア地域の外部関係者の AOSSG に対する認知度を高めること等を目的として、第 2 回年次会合でウェブサイトを立ち上げることに合意した。AOSSG は、財務報告の関係者が定期的に本サイトを閲覧することを歓迎する（リンク先：<http://www.aossg.org/index.php>）。

AOSSG は、本ウェブサイトの情報について、AOSSG の作業グループの活動や、AOSSG から国際会計基準審議会（IASB）へのコメントレター等を含め、アジア・オセアニア地域の企業に関連のある広範な会計基準の論点について、適時に情報を更新していく予定である。

詳細情報に関する問合せ先は、左記の通り：aossg@aossg.org

AOSSG について

AOSSG は、アジア・オセアニア地域の認知されている会計基準設定主体のグループである。現時点では、当地域の 24 の国又は地域の会計基準設定主体で構成されており、メンバーは、引き続き、増加している。本グループの議長は、現在、企業会計基準委員会（ASBJ）の西川郁生委員長、副議長はオーストラリア会計基準審議会（AASB）のケビン・スティープンソン議長である。

AOSSG は以下を目的としている。

- (a) 当地域内の各国による国際財務報告基準（IFRS）のアドプション及び IFRS とのコンバージェンスを促進すること
- (b) 当地域内の各国による IFRS の統合的な適用を促進すること
- (c) IASB の専門的活動に対する当地域からの意見を調整すること
- (d) 当地域の財務報告の品質改善のため、政府や規制当局、他の地域組織や国際機関と協力すること

AOSSG には、現在、農業、連結、排出量取引、公正価値測定、金融商品、財務諸表表示、保険契約、イスラム金融、リース、収益認識の論点に関する作業グループが設置されている。次回の年次会合は、2011 年 11 月にオーストラリアで開催する予定である。